

今、大山を超えよ

～難関を突破し、福を掴め～

浦和南高等学校進路支援部
令和4年度進路通信
第2号
2022年5月19日

進路指導主事より

5月は多くの進路行事や考査、模試(3年)があります。進路行事をきっかけに、自分の進路についてよく考え、深く調べてみましょう。進路説明会でもお話ししましたが、「**進路を考える**」=「**自分の適性や生き方を考える**」、「**自分と向き合う**」ということです。受験のことだけでなく、入学後、大学卒業後と、その先の自分の姿も考えながら、夢や目標達成のために必要な情報を主体的に手に入れて、その実現のための土台をつくりましょう。また、保護者の進路説明会や履修科目選択もありますので、保護者の方とも、進路についてよく話し合っておいてください。学習面でも授業を大切に、スタサポや模試を活用(**やりっぱなしはNG!**)して自分のウィークポイントを把握し、実力アップにつなげていきましょう。**進路のしおり**も配布されました。受験の仕組み、学習法、先輩たちの受験結果、合格体験記と内容が満載です。特に、学習法、先輩の体験談で「これは!」と思うものは、ぜひ参考にしてください。先輩からのアドバイスも自分たちの力にし、「**チーム南高**」として、前向きに、チャレンジ精神で、高みに向かってみんなで高め合い、伸びる集団になっていきましょう! (福田)

5月寄稿 先輩たちからのメッセージ2

第57期卒業生

進路に関するアンケートより

Q. 自分の進路活動で、良かった点やこうすればよかったと思う点、成功例、失敗談なども踏まえ、後輩たちにアドバイスをお願いします。

【受験期の過ごし方】

- ・モチベーションを1年以上継続させることは困難。**モチベーションを保つ方法**を考えましょう。
- ・自分がキツイ時に**一緒に勉強できる友達**をもった方が良い。
- ・体調管理をすること。早寝早起き。
- ・合格のカギは、**最後まで諦めなかったことが大きい**。早めに始めて、勉強習慣をつけること。
- ・模試の判定はあくまで目安です。「**現役生は最後まで伸びる**。」この言葉は受験においてよく聞く言葉ですが、本当でした!自分が最も学力が伸びた時期を聞かれたら、間違いなく共通テストが終わってから私立入試の最終日までの1か月を答えます。
- ・未履修があっても焦りすぎないでください。確かに無いに越したことはありませんが、履修済み科目の勉強がおろそかになってしまえば本末転倒です。僕はここで大きくロスしました…。履修済み科目を共通テストまたは二次レベルにもっていくにはどのくらいかかったかを目安に計画を立てると不安要素がなくなります。
- ・共通テストの配点が大きい大学は共通テストで逃げ切れるので力を入れることをおすすめします。
- ・国公立大学の人数枠推薦(公募推薦)を受験しました。**小論文は少なくとも夏休みから本格的に始めた方が良いです。**



2022年 5月

日	月	火	水	木	金	土
1 ③河合 マーク	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12 ①②進路 説明会	13	14
15 ③河合 記述	16	17	18	19 ③進路 説明会	20	21
22	23	24	25 中間考査	26	27	28
29	30	31 ③進研 マーク	6/1	2	3	4

24(火) 保護者進路説明会(第一体育館)
詳細は各年次からのお知らせでご確認ください。

進路のしおり
配布

2022年 6月

日	月	火	水	木	金	土
			1 体育祭 予行	2 体育祭	3 体育祭 予備	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18 公開 授業
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	7/1 期末考査	2
3	4	5	6	7	8 ①芸鑑 ②TGG	9

2023.1.14(土)
～15(日)
大学入試
共通テスト
本番まで
(5/19時点)
あと

240 日

【 1年次 】 守屋先生、大井先生、名和川先生>

【慣れ】

南高に入学して1か月が経ちました。高校生活はいかがですか？高校生活のリズムに少しずつ「慣れ」てきたでしょうか。朝10分間の夢実現タイムも、自考した計画表にそって取り組んでいたりと、各教科の課題に応じて取り組んでいたりと、自分で考えて行動する1年次生をみることができています。

そして、高校はじめての定期考査が目の前に差し迫ってきました。授業の内容をどの位理解できているかを知るいいチャンスです。勉強時間を確保し、頑張って欲しいと思います。

その一方、「慣れ」は怖いものです。朝の時間に話したり、課題への取り組み方が適當になったり、提出期限等にルーズになったり。

ぜひみなさんには、「慣れ」た時こそ、1つ1つ丁寧に組み立てようになることを強く勧めます。急ぐ必要ありません。丁寧に自分の進む路を歩いていきましょう。

【 2年次 】 池田先生 豊田先生 開米先生

GW 充実した日々を過ごせたでしょうか？これまでの自分とこれからの自分を考える良い機会だったことだと思います。さて、5月からは2年次となって初めての中間考査があります。2者面談をしていると、「2年次からは勉強を頑張る」というような目標を立てている生徒が多く見受けられます。勉強を頑張るために、『具体的にどう頑張るか』、ここがとても重要です。目標達成のために日々の生活でしっかりと自分を管理していきましょう。

また5月からは3年次の科目選択があります。GW 課題でもありましたが、科目選択は自分が学びたい科目ではなく、学ぶべき科目を選ぶものです。志望する分野や大学をターゲットにすると、自ずと選択すべき科目が見えてきます。大学入試のスタートとも言える重要なことなので、必ず周りの人たちと相談して選んでいきましょう。

目標があれば人間はその目標に向かって頑張れるものです。進みたい分野に行くために大学へ行き、大学に入学するために入試を受け、その入試を受けるために入試科目に必要な科目を選択していく。全て繋がっていることです。受験生としてもう始まっているので、先を見据えた未来ある行動をしていきましょう。

【 3年次 】 秋元先生 奥田先生 山崎先生

4月・5月にかけては人によっては高校最後の大会でした。発表会でした。という人も多かったと思います。思いをかけて続けてきた部活動もそろそろ集大成の時期でしょうか。どのような結果になっても最後は「感謝」「ありがとう」で終われる活動であってほしいものです。さて、そのような中ではありますが、4月は受験生として本格的に学習に励めたでしょうか。時期的に言うとは現在は「基礎力養成期」という時期かもしれません。これが今後、夏にかけてこの基礎力を「完成」させていかなくてはなりません。3月の先輩たちからの講話にもありましたが、受験の天王山はなんといっても「夏」です。この大きな山を越えるための準備を今から整えていく必要があります。その準備によってどれくらい大きな山を乗り越えられるかが決まるのです。現役生は時間がありません。常に早め早めということを言ってきましたが、自分が超えるべき山を見定めていく時期に差し掛かっています。5月は河合塾共通テスト模試、全統記述模試、ベネッセ共通テスト模試が行われます。さらには、中間考査、学校からの進路説明会も開かれます。盛りだくさんです。そういった進路行事や学校行事を踏まえて、6月には三者面談です。その際には自分がこれから歩んでいきたい進路を是非力強く語ってもらえることを期待しています。成人を迎えた3年生、これから成人を迎える3年生。自分自身で歩む進路です。自分で考えましょう。